

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年 3月 1日

事業所名 スタジオそら喜多見

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	7	0	事前にミーティングをし、使い方を工夫している。	引き続き支援の充実化を図っていく。
	② 職員の配置数は適切であるか	7	0	利用定員に応じた職員配置を行っている。	法令上の配置人数を満たしている。引き続き支援の充実化を図る。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	利用者のニーズに合わせて対応するよう心がけている。	建物の入り口に階段がある。必要に応じてベビーカーなどは職員が運ぶなど対応をしている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	7	0	アルコール消毒、また整理整頓を心がけている。	継続して清掃や消毒を行っていく。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	7	0	打ち合わせやケース会議を実施している。	継続することで引き続き支援の充実化を図っていく。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7	0	いただいたご意見を参考に掲示物等の改善可能な点から取り組みを行っている。	保護者のニーズを業務改善に繋げていくよう心がける。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	ホームページに掲載している。	引き続き、支援の充実化を図る。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	第三者評価は行っていない。	第三者評価は行っていない。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	社内研修をおこなっている。	引き続き、職員の資質向上を図っていく。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	実施している。	引き続き、支援の充実化を図る。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	使用している。	引き続き、支援の充実化を図る。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	保護者のニーズを把握し、またスタッフ間で打合せをした上で具体的な支援内容を設定している。	今後も保護者のニーズを把握し、適切な支援内容が設定されるようスタッフ一同努めていく。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	保護者のニーズを把握し、またスタッフ間で打合せをした上で具体的な支援内容を設定している。	引き続き、支援の充実化を図る。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	事前の打ち合わせで目標や保護者のニーズを確認し、共有している。	継続していく。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	達成度をはかる上で同じプログラムに取り組むこともあるが、楽しませる工夫をするよう心がけている。	引き続き、支援の充実化を図る。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	子どもの状況に応じて児童発達支援計画を作成している。	児童発達支援対象児については、個別療育がメインとなっている。必要に応じて集団活動を取り入れていく。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	打ち合わせを行っている。	引き続き、継続して取り組む。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	打ち合わせを行っている。	引き続き、継続して取り組む。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	記録をとり、その記録を基に打ち合わせもしている。支援の検証・改善に繋げている。	引き続き、継続して取り組む。支援の充実化に繋げていく。
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	実施している。	継続して取り組む。	
関係機関や保護者	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	必要に応じて児発管が参加している。	継続して取り組む。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	必要に応じて連携している。	新しい職員に関係機関との連携体制について伝えていく。また、より関係機関との連携を深めることができるよう努める。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	1	現在対象者は利用していない。	特になし。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	1	現在対象者は利用していない。	特になし。

者との連携関係機関や保護者との連携	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	必要に応じて情報共有をしている。	積極的に連携強化を図っていく。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	必要に応じて情報共有している。	積極的に連携強化を図っていく。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	電話でのやりとりを多くしている。	連携を強化していく。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	6	保護者のニーズにない。	必要に応じて検討していく。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3	コロナ感染症の影響もあり十分に参加できていない。	必要に応じて積極的な参加を検討していく。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	フィードバック時に実施している。	引き続き支援の充実化を図る。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	3	ペアレントトレーニングとして実施はしていないが、必要に応じて支援・対応をしている。	フィードバックや面談時に支援を行っているが、ペアレントトレーニングとしての支援は未実施である。今後実施できるよう制度を構築することに努めていく。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	変更があれば都度スタッフ間で共有を図り、各スタッフが説明できるようにしている。	新しい職員への理解を深めるとともに、引き続き支援の充実化を図る。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	支援計更新の際は説明をし、同意を得ている。	丁寧な説明を心がけ、引き続き支援の充実化を図る。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	定期的に面談を行なっている。	継続して取り組む。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	実施していない。	保護者によるニーズがないため実施をしていない。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	フィードバックだけでは時間が足りない場合、面談を設けることで対応している。	継続して取り組む。相談しやすい雰囲気づくりを心掛けていく。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	ホームページ上に定期的に通信をあげている。	スタジオにおける活動概要などが伝わるよう掲示物にも工夫をしていく。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	個人情報は鍵のかかる場所に保管をしている。	引き続き継続していく。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	視覚化、構造化等の配慮をしている。	引き続き支援の充実を図る。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	例年事業部主催でそらコンサートを実施している。	今年はコロナ感染症の影響により実施できていない。
非常時の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	マニュアルの読み合わせを実施している。	保護者への周知を強化していく。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	計画している。	コロナ感染症の影響により例年通りの実施はできていないが、職員間で確認を行っている。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	1	フェイスシートや聞き取りにより状況を確認している。	引き続き継続していく。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3	事前にアレルギーの把握をしている。	引き続き継続していく。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	情報共有をし作成している。	引き続き職員の危機管理意識を高めるよう努める。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	虐待防止研修を実施している。	ロールプレイなど実施し、さらに職員の理解を深めていく。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	1	契約時に説明している。また適宜必要に応じて説明をしている。	引き続き継続していく。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。